

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成しましたので報告します。

全 員 協 議 会 記 録

開催日：平成27年12月16日（水）
 開催時間：11時37分～15時05分
 開催場所：全 員 協 議 会 室

〔出席議員〕

西田議長、平石副議長
 足立議員、岡野議員、柳楽議員、串崎議員、小川議員、森谷議員、野藤議員
 上野議員、飛野議員、笹田議員、布施議員、岡本議員、芦谷議員、佐々木議員
 道下議員、田畑議員、澁谷議員、西村議員、江角議員、牛尾博美議員、原田議員
 牛尾昭議員

〔執行部出席〕

市 長、副市長、教育長、金城自治区長、旭自治区長、弥栄自治区長、三隅自治区長
 総務部長、地域政策部長、財務部長、健康福祉部長、市民生活部長、産業経済部長
 都市建設部長、金城支所長、旭支所長、弥栄支所長、三隅支所長、教育部長、消防長
 上下水道部長（広域行政組合事務局長）

〔事務局出席〕 局長、次長、議事係長、庶務係長

（報道）山陰中央新報社、中国新聞、朝日新聞

議 題

1 執行部報告事項

- (1) 業務委託における低入札価格調査制度の試行導入について
- (2) 浜田市有料駐車場の指定管理について
- (3) 新浜田市まちづくり総合交付金制度（案）について
- (4) 学生対象物件の家賃値下げに関する要望書について
- (5) 中期財政計画について
- (6) 平成27年度浜田市ふるさと寄附の状況について
- (7) J T跡地利用方針について
- (8) 旭小学校について
- (9) 平成28年浜田市消防出初め式実施計画
- (10) 島根あさひ社会復帰促進センターの現況について
- (11) その他（配布物）
 - ・平成28年度浜田市総合防災訓練について
 - ・ウィンドファーム浜田（風力発電所）の進捗状況について
 - ・政府関係機関の地方移転に係る提案後の状況について
 - ・「平成27年度11月版浜田市税だより」の発行について
 - ・浜田市多子世帯生活支援（商品券交付）事業について
 - ・ごみステーション整備費補助金（仮称）の新設について
 - ・三國清三シェフを招いた食のイベント開催について
 - ・浜田市と日本海信用金庫との産業振興等に関する包括的業務協力協定の締結について

（裏面へつづく）

- ・ 中国電力(株)による火力電源入札の応札結果について
- ・ 浜田港における国際コンテナ貨物の取扱いについて
- ・ 漁業別水揚げについて
- ・ 浜田港四季のお魚カレンダーについて
- ・ 社会資本整備総合交付金事業の繰越明許費について
- ・ 浜田市教育振興計画について
- ・ みどりかいかん改修工事について

2 陳情審査結果等報告書

3 その他

【詳細は会議録のとおり】

西田議長

ただいまから全員協議会を開催する。

1. 執行部報告事項

(1) 業務委託における低入札価格調査制度の試行導入について

(2) 浜田市有料駐車場の指定管理について

西田議長

この2件について、総務部長。

総務部長

(以下、資料をもとに説明)

西田議長

説明が終わったが、(1)について議員から質問等があれば。小川議員。

小川議員

この目的や対象業務を見ると、例えば業種等が拡大した場合によく言われるのが、公契約という言葉で言われる公益契約条例を作っている市もあるが、これに近づいていくのではという印象を持った。今回導入しようとしている制度と公契約の違い、関連性はどのように捉えれば良いか。

総務部長

過度なダンピング防止のために、このような制度を試行導入することにした。このことについては先進自治体では公契約条例を制定する中でやっておられるが、この契約についても浜田市が平成20年前後から検討している経緯があるが、他の自治体が公契約条例制定に向けて大きな動きがない中、当面は個別に必要なに応じてこういう制度をやっていくことが必要なのではと思った。今は2点に事業を絞っているが、他市の事例を参考にしながらこの2点の業務委託について、制度を試行的に実施していきたいと考えている。公契約については、元々国が先駆的に推進されるべきだと私も考えている。これをもって今すぐ公契約条例の制定といったことには繋がらないと思うが、公契約は引き続き検討する必要がある。

西田議長

他に。

(「なし」との声あり)

西田議長

無いようなので、(2)について議員から質問は。森谷議員。

森谷議員

観光協会に指名する点だが、どう考えても無理がある。社員のベース、お客のためのスキルが欠落している。最近聞いた話でも、石見空港利用者は列車の運賃が確か無料になるが、日程を変えたということで事務所へ見せに行くと、発車寸前なのに確認作業をずっと取っている、そんなことを平気でするようなスタッフが揃っている。それはスキルの問題ではない、病巣の一つが現れているに過ぎない。また土日や夜間に対応が取れるかどうか。宿泊すると加盟店で使える2,000円の商品券のようなものが貰えるが、私が知っている店は加盟してないがお客が券を出せば受け入れてあげている。観光協会はどうか、加盟してなければ使えないと言って終わりにするだろう。巷にはホスピタリティの塊のような所もあるのだから、そういう所を中心にしてもらうようにすべき。個人的に反対署名運動を起こしたい。

総務部長

観光協会の件については、先般報告した。12月8日の総務文教委員会においても、観光協会が本当に駐車場運営をしていけるのかと。専門スキルについて心配される意見をいただいた。以前監査のこともあり、そう

ということで意見をいただいたものと思う。観光協会の体制強化のために、また一定の自主財源確保のために、こうした事業展開は必要だと思っている。また観光協会も一般社団法人ではあるが、浜田市の資金援助団体なので、観光協会の体制については今後も産業経済部とも連携して対応していく必要があるのではと思っている。ご理解いただきたい。

森谷議員

その件については私ではなく、直接そういう目に遭われた人が、岩谷会長へ報告しているそうだ。会長は非常に憤慨されていたという話を聞いている。

西田議長
森谷議員

森谷議員、質問をするように。

そのような話を聞いているので、指名の件は3月に出すということではなく、見直す方向で考えていただけないか。

総務部長

最終的には提案をした時点で色々議論をしていただくことになろうかと思うが、こちらとすれば3月議会に提案をさせていただくように協議を進めているので、提案をした時点でまたご協議いただきたい。

西田議長
岡野議員

岡野議員。

能力的に無理だということを僕はよく知っている。一昨日も駅前の某商店主から、有名な食べ物屋だが、1時間半くらい観光協会の悪口を聞かされた。ポスターも配らなければ、自分から絶対に回ったりするような人たちではない。自分が頼み込んで貰いに行って、世話に世話があるような状態の人に指定管理など、能力的にも絶対に無理だ。また、例えばこういった管理をするのならば、宅建協会のメンバーである浜田ビルメンテナンス、センター長がやられている日建という会社が栄町の横にあるが、そういった身近な民間会社にやっていただく方が普通の道理だと私は思っている。観光協会はずまず自分たちのやらなくてはいけない観光についてだけやって欲しい。それがまず出来ていないのだから、まして駐車場管理など不可能だと思っている。私は反対している。そういった意見があるということで、再度揉み直すつもりがあるのかどうか。再検討するつもりがあるのかどうかを尋ねる。

総務部長

岡野議員からは12月8日の総務文教委員会の中で全く同じようなご意見をいただいたが、これも先ほど回答したように、確かに指摘される部分は私は直接存知あげていないが、そういうこともあるのかもしれない。そういうことを見直すためにも一定程度の体制強化をするための財源確保は必要になろうかと思っている。その方向で進めていくつもりであり、現時点で見直す考えは持っていない。

西田議長
足立議員

他に。足立議員。

まず観光協会には浜田市から年間で多額の補助金が出ている。そして職員を1人出向している。この状況の中、市長が観光に力を入れるということで、ただし一方では浜田市を訪れる観光人口が176万人だったか、減少しているという現実もある。同僚議員が言われたように、観光業に集中すべきだろうと思うのだが、かたや浜田市においては行財政改革の一環で職員削減の部分も含めて話をしている。今後これをもし観光協会に委託されるという話であれば、職員の引き上げも含めてされるかどうかといった部分について、内部協議をされるのかどうかお尋ねする。

産業経済部長

私自身が観光協会の理事でもあるので、今現在の考え方というか。これは議員さん方が仰るように、観光協会の本業は飽くまでも観光業で、

誘客のためや地域の発展に貢献するという本業は見失ってはいけない、これは当然。

このたび駐車場の件の話もいただいているが、第一に観光に資すること、地域の発展、旅館、飲食、ホテル、レストランのためにも駐車場を運営することが、この地域にとっても観光協会にとってもメリットになる形で取り組んでいけないかということで検討させてもらっているし、総務とも調整させていただいている。本業については何としても今まで以上に強化したい思いは持っている。

また、足立議員からの質問だが、職員を派遣して体制を強化、また財務体制や経理の強化を図っている。おもてなしがなっていないのではという意見をいただいたが、真摯に受け止めて皆から信頼され、尚且つ駐車場もやって良かったと言われるような観光協会を目指したい。

西田議長

他に。

(「なし」という声あり)

西田議長

無いようなので、次の議題に移る。

(3) 新浜田市まちづくり総合交付金制度(案)について

(4) 学生対象物件の家賃値下げに関する要望書について

西田議長

この2件について、地域政策部長。

地域政策部長

(以下、資料をもとに説明)

西田議長

説明が終わったが、(3)について議員から質問等があれば。足立議員。

足立議員

質問に近いお願いなのだが、一般質問に対する部長答弁にて部長が、地域で出来ることは地域でと、今後のまちづくりの基礎となる部分を、行政が担う役割を縮小していく意図があるように思う。そういった部分が地域住民に浸透していない。災害が起きても浜田市が助けてくれるとか、消防署が来てくれるものと言われる場合がある。そういうことを言われると難しい部分があるので、是非とも広報はまだ等で、地域のことは地域でやってくださいという情報発信をお願いしたい。市民の考え方や意識も変えていかないと、行政や議員だけでは難しい面がある。考えを伺いたい。

地域政策部長

貴重なご意見だ。共助、地域の皆さんと一緒にやっていただくのは非常に重要だと思う。広報等でも周知ということだったので、新制度に合わせて周知させていただき、年が明けたらこの新制度を各地区に出向いて、新まちづくり総合交付金の説明会等も行うので、足立議員からお話があったことは積極的に伝え、地域で出来ることは積極的に取り組んでいただけるようお願いしてまいりたい。

西田議長

森谷議員。

森谷議員

大雑把に言うと今年も去年も1億2,000万円くらいの事業費だった。去年は8,000万が交付金、4,000万が浜田市のお金ということで。今年は8,000万が浜田市のお金、4,000万が交付金。もう少し経つと交付金ももっと一杯貰えるかもしれないから、多分8,000万になる、その時は浜田市の負担が4,000万になる、という話で良かったと思う。

そもそも、中財も33年で42億、それから18億ずつのマイナスということなので、8,000万とか4,000万とかいう次元の話だが、4,000万しかもう出さないと決めておいて、交付金が貰えなかった時には4,000万の範囲の

中でやるというように……取りあえたくさんやっておいて上手くいけば4,000万余るから、それはそれで振り返るか誰かが使うのだというようなやり方を転換すべきだ。4,000万と8,000万で何かが如実に違うということはない。予算の設定について貧乏になるかもしれないという意識が足りないのではないか。そういう予算の立て方をされた方が良いと思うが。

地域政策部長

本事業は過疎債のソフト事業を財源に充当している。当初これは平成27年度までが過疎債ソフトだったものが5年間延長になって、それをもとにこの事業も延長可能となった。これは以前もご説明した。従って過疎債ソフト事業を財源に充当しながら、概ね1億2,000万の予算の中で、過疎債ソフト事業には枠があるので、これ以外にもソフト事業でその財源を充当する部分があるので、過疎債ソフトの財源をこの事業にどのくらい充当するかは財政課が全体の事業の中で……この事業にどのくらい充当して、その残については一般財源を使うシステムになっている。過疎債ソフト部分がこうだから、一般財源がこうなったから、全体の事業を圧縮するという事は……基本的には5年間の想定をして皆さんに頑張ってお願ひしているし、3年くらいの間地点で見直しはするが、今回は基礎額も少し圧縮させていただいているし、頑張っている所には充当するので、ご意見としては承るが、あとは財政サイドとの予算編成の中で協議していきたい。

森谷議員

その対応の仕方というのは非常に簡単。一つは浜田市が4,000万出す時のプランを皆さんに考えてもらう。もう一つは4,000万しか交付金が出ないプラン。出て1億2,000万になった時のプラン。ちょっとしかお金がない時のAプラン、たくさんお金がある時のBプラン、2つプランを考えれば良いので簡単。お金のことは全て財政任せでは駄目だ。親から仕送りをもって勝手に使う放蕩息子のようなもの。親のことも考えながら自分もやらないと。そう思わないか。

地域政策部長

本事業は先日の意見交換会でも、たくさんの議員から現状維持のご要望が出ているので、優先順位の高い事業だと思っている。金額は現状維持出来るか分からないが、十分な予算措置が出来るよう限られた財政の中でも優先順位は高いものとして進めたい。

西田議長

田畑議員。

田畑議員

この事業は今年が最終年度となっていると思う。23年から27年の5年間で年間大方1億2,000万程度、5年間で6億円くらい各地域に交付してきた。それが良かったか悪かったかを反省せずに次の交付金制度と言われても。僕は何も反省しないでバラ撒くなら止めるべきだと思う。例えば肝心な、浜田市何々町内で、11世帯に6万円交付している。それが高い安いではなく効果があったか無かった、それを全然検証しないで新交付金制度をやるようとしている。それをバラ撒きというのだ。反省して効果があったから、財政上2割ほど減らして6万円の部分であれば1万2,000円減らして、また頑張ってくれと。支援出来る部分は支援すると。そういった精査をせずにこれを継続するなら、バラ撒きであり止めるべきだと思うがいかがか。

地域政策部長

今年度で終わろうとしている5年間の検証の話だが、各町内へのアンケート等はやっていないが、ご承知のように今28団体ある地区まちづくり推進委員会については、事例発表会や意見聴取を行っている。交付金が

一定の制度は当然果たしていると認識している。たくさんあれば喜ばれはするが、バラ撒きという視点もあるので今回見直しさせていただき、新制度を持っていくためには地域の代表者との検討会もやりながらご理解をいただいた上で進めているので、どこまでが検証で検証出来ていないかという議論があると思うが、私どもはこれまでの制度についてはある程度の理解と方向性をいただいた上で、次期制度を検討したと思っている。

田畑議員

検証して更に上乘せするとか、交付対象の町内から外すといったことをやらないと、全く意味が無い感じがする。是非検証してやっていただきたい。この制度を当てにしている地域もある。何か知らないがわけも分からずもらっているという地域もある。そういった所は検証すべきだろうと思っている。

地域政策部長
西田議長

説明会等ではそういう意見も充分聞きながら進めていきたい。
他に。

(「なし」という声あり)

西田議長
森谷議員

では(4)について質問は。森谷議員

よくあるのだが、全日と全宅の協会と言われた。全日は3社とか。それが今まで例えば指定管理のお知らせでも、全宅とって32社にしかお知らせが来ない。私は5年前から言っているが、全然認識する気が浜田市側がない。不動産業者というのは大きな団体が2つあり、1個は全宅、もう1個は全日。コムサは全日に入っている。だからというわけではないが、だから情報が分かる、市役所がそういう認識さえしていないというのが。このくらいのことを知った上で全体にお知らせするようにしないといけないのだが。今回だけは注意されたような気がするが、それはどううきっかけなのか。評価しているんだが。

地域政策部長

浜田宅建協会さんには全社入っておられないと伺ったので、他の団体にどういう所があるか伺った。ただ、今回お願いした全日本不動産協会島根県本部は松江に支部があって浜田にはないので、どこまでご配慮いただけるか相談したら、こういう文書を出されるなら送付いただければ、浜田の会員にはこういう文書が来たことを伝えるということでご理解をいただき、させていただいた。両方の協会に入っていない事業者もおられると伺っているが、そこまでは調査が出来ていないので可能な範囲でこれのお願いをさせていただいた。

森谷議員

どちらかの協会に入らないと不動産業は営業出来ないのでは、ご心配なさっているようなことはない。

西田議長

他に。

(「なし」という声あり)

西田議長

ここで暫時休憩する。再開を13時丁度とする。

[12 時 11 分 閉議]

[13 時 00 分 閉議]

西田議長

休憩前に引き続いて会議を再開する。次は(5)だが、これは長引きそうなので最後に回したい。

(6) 平成27年度浜田市ふるさと寄附の状況について

西田議長
財務部長
西田議長
西田議長

この件について、財務部長。
(以下、資料をもとに説明)
説明が終わったが、議員から質問等があれば。一般質問にならないよう充分ご配慮をお願いする。
(「なし」という声あり)
無いようなので、次の議題に移る。

(7) JT跡地利用方針について

西田議長
都市建設部長
西田議長
森谷議員
都市建設部長
森谷議員
都市建設部長
森谷議員
都市建設部長
森谷議員
都市建設部長
森谷議員
都市建設部長
西田議長
足立議員

この件について、都市建設部長。
(以下、資料をもとに説明)
説明が終わったが、議員から質問等があれば。森谷議員。
ここに県営住宅が出来るとなると、人口が激増すると思うのだが。大体どのくらいをイメージしたら良いのか。
現在港町にある漁民団地が48戸ある。基本的にはその建て替えとの事なので48戸だと思われるが、場所が非常に街中のため、県はプラスアルファが出来ないかを検討されている。
50戸100戸となると何百人という人口が増える。下水設備や自動車の交通量にも影響する。基本的には長浜西住宅の時にもあったと思うが、民間のアパート経営者が圧迫されることも考えて、または使わなくなった場合の解体費用等も考えると、民間のアパートに住んでいる人に対する金銭的補助によって同じ効果を持たせるという話が一時出てきたと思う。それとの整合性はどのように考えたら良いのか。民間業者の圧迫にも繋がる。
今回の県からの提案については、現存の公営住宅の建て替えなので、民業圧迫や今仰ったようなことにはならないと、私は思う。
下水設備等は見直す必要が出てくるのか。
これもまだ下水道課の方で区域を……前に示されたものから変えるので、当然終末処理場の大きさについては、将来人口を見越した計画が作られると思う。
これは大きな浄化槽を作るのか、それとも下水処理設備と言えるものを作るのか、それとも竹迫、笠柄のようなものを作るのか。全く決まっていな
この件については事業者が県である。県は建築をする前段になれば各自治体の下水道事業の計画について問合せ、そこでどちらにするかの判断をされると思う。
これが順調に進んだ場合は、議会の提案、着工、完成をどのようにイメージすれば良いのか。
それは県営住宅ということか。県からまだ詳しいスケジュールは示されていない。ただ、来年度に基本設計の予算を要望すると聞いている。そうすると通常で行けば、次の29年に実施設計、用地買収を行い、平成30、31くらいで建築になるのが通例である。
足立議員。
今の話の中でいくつか疑問を感じた。建て替えとのことなので、現在おられる方がこちらへ移られるという解釈で良いのか。

都市建設部長 はい。うちの市営住宅、西住宅でもそうだったが、基本は今現在住んでおられる方を優先で斡旋している。ただ、場所が変わるため家賃の再計算をするが、当然現在より家賃が高くなるので、他の県営住宅を斡旋されたり、場合によっては市営住宅の空きを確認して我々に相談がある可能性はある。

足立議員 第3案だが、県営住宅が一等地の中でも超正方形というか超長方形というか、一番良い使い方をされるのだが、残された商業用スペースは例えば入れ替えは出来ないのか。その理由は、商業系でどんな物が入るのかイメージはわからないが、四角形の方がどう考えても使いやすいので、何をするにしてもそういうスペースを残しておいた方が得策ではないかという思いがあるのだが、どのようにお考えか。

都市建設部長 奥側の松原小学校に近い側がずっと有料な宅地になっており、そういった考え方からしても、宅地に関しては出来れば北側が望ましいという考え方が1点。それから商業系については下の斜めの部分。これ約90メートルあるのだが、これが国道9号に面している。形はこのようになっているが国道にいちばん面した所が商業系が出店・進出されるのに一番重視されるのではとの考えからこの案を示した。

足立議員 土地取得の際、浜田市において街中に残っている最後の優良土地であるということで、浜田市のコントロール下に置きたいといった発言もあった。県営住宅をここに移すことが浜田市のコントロール下に置くことになるのか、これは最初から望んだ形なのか。

都市建設部長 6月時点まではこの話は全く無かった。8月終わり頃に県から打診があり、内部協議で決めた。そういった結果を踏まえると、これも浜田市のコントロール下に置いた結果だと言える。

西田議長
岡野議員 他に。岡野議員。
第3案の県営住宅の4000平方メートルというのに、今の発言だと原則は48戸建て替えのスペースだという。これは1100坪くらいの広さで48戸というのは、かなり悠長な面積だと思う。恐らく2階建ではないのでかなり遊び部分が出るが、県からこの面積が欲しいと言われたのか。

都市建設部長 現在の漁民団地が3000ちょっとで2棟建っている。原井小学校跡地は48戸あるが、横幅が72メートルあって6階建て1棟。ここは横幅が50メートルしかないので、県からも大体4000くらいは必要だろうという話はいただいていた。来年基本設計をする中で、高さ等を検討して決まっていく。4000というのは飽くまで目安。

岡野議員 面積は流動的だということは分かった。結局この売却価格に反映することありきで発想が出たのかなと思ったが、それは影響していないのか。半分県にお任せしようということありきでそういうことがあったのかと思ったのだが、全くなかったのか。結局商業スペースをここにたくさん設けるには広すぎて勝手が悪いのか。浜田市がこの商業スペースをどのように活用するのか分からないが、基本的に奥側は使い勝手が悪いし市の負担も軽減できるという考えで県にお任せしたのか。

都市建設部長 使い勝手が悪いから県にお願いしたわけではない。飽くまでも8月の終わり頃になって県から申し出を受けて4000平方メートルで線を引いているものでそういったことはない。

西田議長 他に。

西田議長 (「なし」という声あり)
無ければ、次の議題に移る。

(8) 旭小学校について

西田議長 この件について、教育部長。
教育部長 (以下、資料をもとに説明)
西田議長 説明が終わったが、議員から質問等があれば。
西田議長 (「なし」という声あり)
西田議長 無いようなので、次の議題に移る。

(9) 平成28年浜田市消防出初め式実施計画

西田議長 この件について、消防長。
消防長 (以下、資料をもとに説明)
西田議長 説明が終わったが、議員から質問等があれば。
西田議長 (「なし」という声あり)
西田議長 無いようなので、次の議題に移る。

(10) 島根あさひ社会復帰促進センターの現況について

西田議長 この件について、旭支所長。
旭支所長 (以下、資料をもとに説明)
西田議長 説明が終わったが、議員から質問等があれば。森谷議員。
森谷議員 文通の相手はボランティアか。
旭支所長 はい。
森谷議員 金銭的なものではなく、旅行に行くとかいったこともないのか。
旭支所長 訓練生から手紙が送られてきて、それに対してお答えするだけのやりとりだけ。
森谷議員 文通すると旅行に連れていってもらえるという話を聞いたことがある。間違った情報なら失礼した。
西田議長 他に。
西田議長 (「なし」という声あり)
西田議長 無いようなので、次の議題に移る。

(5) 中期財政計画について

西田議長 途中飛ばしたが(5)について、財務部長。
財務部長 (以下、資料をもとに説明)
西田議長 まだまだ説明が足りない、また改めてしっかり意見交換したいと執行部も思われていると思うが、この時点で議員から質問があれば。森谷議員。
森谷議員 大変丁寧な説明でよく分かった。仮に歴史館14億円弱を止めたら42億円の赤字はどうなるのか。それ以後の18億円の赤字はどうなるのか。イメージだけで結構、どのくらい変わってくるのか。
財務部長 その問いにすぐ答えるのは難しい。事業ベースで14億円、実質的にこのうち8,400万円、金額的には非常に小さい。財政だけの数字を求めるなら何の事業もせずにじっと我慢するのが一番良い。じっと我慢して良いかという政策的な問題があるので諸々やっていかなければいけない。た

だ、一番重要なのは、建物というのは減価償却、ランニングコストがかかるので修繕費という形で後ほど必ず経費部分で上がってくる。事業効果があれば効果があった分だけの見返りがある。なので単純に申し上げるのは難しい。

森谷議員

元気も投資も、事業効果は税収のようなものとして予定させている、影響させているわけではないと思うので、ここだけに事業効果を考えないで、14億円減れば基本的に42億円は28億円になると思うのだが。あっているか。

近重副市長

2番目の表を見ていただければ。一番下に浜田歴史館整備事業というのがあるが、27年の中財では実質市の負担が8,400万円だから、42億円から8,400万円を引いた……8,400万が影響する。18億円の部分はランニングコスト等が出てくるので、34年以降の部分、出来た後の部分はまだ出来ていないが、建物自体は実質市負担分の8,400万円が影響する。

森谷議員

副市長が言われた表の中の、左隣の市費というのがある。これは市の負担がないお金なのか。

地域政策部長

地域政策部が所管している事業。財政に予算要求した内訳はうちで作ってる。27年度中財の一番下の、仮称浜田歴史神楽館の2億8,000万円は、過疎債を想定しているなのでその3割部分が先ほどから出て、7割は交付税措置されるので、3割部分が8,400万円ということで見えていたきたい。

森谷議員

ということは上にトータルが書いてあるが33億円、これは過疎債のようなもので担保されているということは、10億円くらいが市負担ということで良いのか。

地域政策部長

地域政策部が所管していない事業もあるが、全てが起債で出来るというものではない。起債があたる部分は起債を使うが対象外になっているものもある。33億円掛ける0.3ではない。一部一般財源も入っている。主な優良債は過疎債を使っている。

森谷議員

あちこち行かないと仕方がないが、冊子11ページの真ん中辺りに「公債費」とあり、だんだん増加している。公債費は平たく言えば借入返済のことだが、借入返済が増加しているということは何かをやるからなのだが、何かをやるというのが先ほどの2枚紙の1から7までのどれか、というイメージで良いのか。

財務部長

一覧表のことかと思う。事業で過疎債を使った部分の積算をしている。

森谷議員

最初の質問に戻るが、2枚紙の27年の縦3本あった一番右側、実質市負担とある。これを理解しやすいために簡単に言うと、全部止めれば縦計が11、2億円になる。11、2億円市の負担がなくなると読めるが。

財務部長

市負担部分で全てが過疎債とは考えていない。他の財源もあてがった上での計算になっていたと思う。私は詳細を押えていないので、その辺はまた詳しく分析してみたい。

森谷議員

了解した。真ん中の市費が過疎債に関係すると、先ほど砂川部長が答えられたような気がするが。次の質問に移る。

10ページの普通交付税111億円、27年。上から5行目くらい。ここと自主財源が167億円あったと4ページ下の方、棒グラフの1番上で言われていた。普通交付税111億円と、先ほどの棒グラフの167億円、どれとどれを足したら自主財源の167億円になるのか簡単に教えて欲しい。

財務部長

なるかどうかやってみましょう。難しいのだが、まず上の地方税71億円、普通交付税111億円、この表にはない私が口頭で説明した歳入公債費44億円を引く。それから地方贈与税等の15億円、それから特別交付税14億円、足して引いたらなるか。71億足す111億円、引く44億円足す15億円足す14億円。

森谷議員

なる。

財務部長

安心した。

森谷議員

そのようにやっていただけると非常に分かり易い。7ページ(5)の投資的経費①に、元気な浜田事業が27年度が86億円を見込むとある。この86億円と2枚紙の表の中、27中財の左上、86億円。これは同じと見て良いのか、たまたま一致しているのか。

財務部長

たまたま一致ということはないと思う。ちょっとお断りしておくが、この大きな表の方は今回慌てて初めて出している。詳細で若干違うということがもしあったとしても、考え方というのは全て一緒に考えている。更に見やすいようにこちらを作っているし、先ほどから市費が何とか言われるが、これは確かに過疎債もあるし一般財源も一部あてるといふ、説明が非常にしにくいのだが、そういったものであてがって財源をしている。

森谷議員

混乱させるつもりはなく、市がいくら負担をするかが重要だと思うのでそういう質問をしているのだが。回答があったのでそれをもとに考えて、また質問させていただく。一旦終わる。

西田議長

澁谷議員。

澁谷議員

私は先週、総務文教委員会でこの表が出て、一気に気力が伏せて食欲がなくなってしまった。去年はイエローカードだと理解していた。それが今やレッドカードになったのではないかと思う。部長から、先日の総務文教とは違った切り口の説明があつて、余程財政当局も新聞報道にびっくりされたのかなと、それで慌てて作られたのではないかと思う。難しいことはさておきシンプルに考えたい。42億円の赤字というのも、財政調整基金が1億円という形になっている。財政調整基金1億円ということはキャッシュフローが詰まって職員給与も払えなくなるということ。それと経常収支比率が100を超えているという状況は、ほとんど基準財政需要額に対して義務的経費の方が多いから何の事業もできないということ。それをレッドカードくらいにして財政当局は注意というか、もう注意を通り越して警告になっているのではないかと思う。これは1年間の固定費が莫大増えている。消防職員を増やしたり。先々週も言ったが定員適正化の見直しという。固定費がどんどん増えている。優良債に変えると言うが、優良債は借金であることに変わらないので、いつかは返さないといけない。その辺の費用対効果の分析をきちんとやらなければ、3月の予算委員会、来年度予算の審議が議会側も真剣に出来るのかという状況。市長はどのようにお考えで、こんな数字を議会に提出されたのかお尋ねする。

近重副市長

確かに42億円という累積赤字なので、将来的にそういうことになるという警告だと考えているが、今の状況は2年先がすぐ赤くなるのではなく、33年にはそうなるという警告見通しなので、これからまた色んな事業を精査していかないといけないだろうと思う。ただ一番根本は何かという

と、結局一本算定替えて13億6,000万円が地方交付税から減らされるのだが、全体的な組織行政の大きな枠そのものが肥大化しすぎている、赤は固定費なのでそういうことになるのだろう。そういう見直しを今後きちんとしていかなないと、今の行財政組織の大きさのあり方のままで行ったのでは、5万6,000人の人口規模に対する組織はどうなのかをしっかりと考えないと、これから難しくなるということをご認識いただきたい。これから固定費をどうするかは大きな問題だと思う。

澁谷議員

この2年間、行革は停滞していると思っている。執行部から「乾いたタオルを絞るようにやっている」という発言を一度も聞いたことがない。10年前にはその言葉をしょっちゅう聞いていた。だからきちんと把握していなければ、人間の意識としては放漫経営になる。トップがそういう姿勢で執行部もそうだと、事務量を徹底的に減らすということをやらない限り。今の流れ自体が、余程覚悟していないと今の浜田市の体制から言うとなぜか必ず増える。このままの形で何も見直すことなく予算委員会をするのか。来年12月までこれで待つのか。

近重副市長

行財政の特別委員会もあるが、これから行革をしないといけないがこの中には全く見込んでいないので、これはまた3月議会までに行財政改革の実行計画を叩いて、またお示ししないといけないが、この固定費42億円全部を綺麗になくするのは大変大きな努力が要るだろうと思うのでなかなか難しい。しかしきちんとした行革の見直しの中で丁寧にやっていく必要があると思う。29年度までは予算単年度収支そのものはきちんと持っている、その間に計画は立てていかないといけないと思っている。事務事業の見直しあるいは組織のあり方等も29年度からはきちんと、事務事業の精査そのものもこれから始めないといけないと思っている。

久保田市長

今日追加でお示しした資料は、皆さんに分かり易くという観点で作って貰った。確かに累積赤字はあと6年で22億円増えると。ではその内訳は何か。昨年の中財と比べて何が増えたのかというのが分かり易くということで、この縦長の表をお示しした。歳入があまり変わらないけど歳出が20億円くらい増えることになっているが、その中身はということになると先ほど部長が説明したが、マイナンバー等に係る電算機や人件費、福祉関係、色んなものがある、このまま行くとこれだけ支出が増えるということでお示しした。しかし議員が言われるように行政改革や、その効果についてはこの中には折り込んでいない。だからこれは本当に取り組んでいかないといけない。

それからふるさと寄附について、午前中は好調だと説明したが、この中財の中ではふるさと寄附はかなり抑えめに読んでいる。これが増えれば歳入が増えることになるが、この中財では抑えめにしている。

火力発電所の話は全く先が分からないのでカウントしていない。ただ申し上げたかったのは、このままいけば支出がこれだけ増える、だからそれに向かった支出を抑える努力、歳入を増やす努力、行財政改革にも取り組んでいかないといけないということでお示ししたつもり。従ってこの数字を見て改めて、これも議員のご理解も必要かと思うが、行財政改革をやるとなると、どこかで傷みのご相談をしないといけない。その辺はご理解いただきたい。

元気な浜田事業の所も分かりづらかったらと思う。昨年比で事業費は少し増えているが、主たる部分は漁港の荷さばき所が大きいということを知り易くお示しした。行財政改革とか歳出削減、あるいは歳入の増加、これは今後取り組んでいきたい。

西田議長
笹田議員

他に。笹田議員。

ナンバー2の資料で、瀬戸ヶ島埋立地の所で、13億7,500万円ほど引かれた数字が27年の中財で出ているが、これは行革の一環だと思うが、13億円も変わるとはどういうことか説明を。

地域政策部長

瀬戸ヶ島埋立地の活用計画については、昨年度の中期財政計画には約20億円を出しているが、これは市費ではなく総事業費的なものを出していた。そのために誤解を招いた所もあったので、今回はその辺を精査して、市が想定している部分と今年1月の意見交換会の時も色んな意見があったので、今回は温泉施設部分について市が負担を想定した部分は抜いて作った。従って今想定しているのは、イベント場所の屋根や駐車場、物販も一部市が負担しなければいけないということで絞りこんで精査して事業費として出し、それに過疎債を充当したりして最終的に市の支出を出した。民間でやっていただく所や温泉施設を今回外したためこの数字になった。

笹田議員

前は民間ということで、ここに民間のお金を入れること自体どうかと思う。今回13億7,500万円マイナスになったのは温泉部分と民間でお願いしようとしていた所を削減した数字がそうなったという認識で良いか。

地域政策部長

民間の所全てを入れていないわけではない。例えば前回お示した渚の交番等は市の負担から外していたが、事業費としては20億円の中に入れていた。そういうものも今回外させてもらった。

西田議長
江角議員

他に。江角議員。

一番気になるのが財政調整基金。41億円あるものが33年で1億円になってしまうと。いわゆる貯金をはたいて一生懸命事業をやるというかつこうだが、財政調整基金の性格からして、先ほどの市長答弁でもあったが年度間において突発的なものが新たに生じた時に、財調基金をあてていく考え方からすると、これを1億円になるまでもっていく考え方は、家庭で言えば貯金がなくなるまで頑張る、それ以降は大丈夫なのという素朴な質問。この辺りの考え方を伺っておきたい。

財務部長

財政調整基金は大変重要な基金だ。財務四表などでよく試算を上げるが、その中で重要な基金部分、基金があるから単年度の収支の中で色々調整が出来る。ところがこれがなくなると非常に苦しいので、逆に言うところのまま財調が使うのではない、行革をして少なくなるのを考えないといけない、そういう考え方を皆さんと一緒に共有して財調を出来るだけ残すようにしたい、出来れば何十億円という単位で残すものが安定した、弾力性がある財政運営が出来るので、当然そのように図っていくべきと考えている。

江角議員

そうだとするならば、これからの事業の総枠を100あるなら95にしたり90にしたりして抑える考えでないかと、もしくはまた行革の所で総額いくらかを考えているといったものがないと、今のような説明は出すものは目いっぱい想定している、これからどれだけ削れるかが課題だというようなことでは、この中期財政計画の取扱いが非常に信憑性の無いものに見

える。いくらでも今からなるんだということではなく、33年ではここまでの財調の基金を積み立てておく、そのためには行革はこのくらいやる、事業については100示しているものを80くらいに抑える、こういった形で出してもらわないと、先ほどからの議論でなかなか了解しにくい。その辺りの工夫は中財計画を出すにあたって考えて欲しい。

財務部長

仰るとおり。実際に中財の役割というのは流れを示すものであり、歳入歳出予算で確定したものを出すものではない。その代わり流れを示すことで情報共有するということで、平成30年から赤字になるのでその手立てとして来年度予算から色々見直ししていく、共有する、数値的な物に対して財調から取り崩していくんだと、そういう見かたをしていただき、来年度再来年度の予算をどうするかをしっかりとその中で取り計らっていただき、現状の数字を少しでも良い方向へ立て直していくのが重要。

江角議員

言われることは分かるが、今日のような見通しの中期財政計画を示されると、主要事業あたりを議員は自信をもって良しと言う気持ちになれない。だから、これだったらそれなりに行けるんじゃないかという出し方にしてもらわないと。この事業でそのまま行くのか、止めた方が良いのではという意見が当然出てくると予想されるが、私は総枠の事業費を抑えて、どれも大事だから示されているのだから、どれかを全部無くすのではなく、そのような提示の仕方ならこれからの審査においても非常にベターではないかと思う。しかしこれは私の個人的な意見なので置きたい。

西田議長

他に。足立議員。

足立議員

参考資料2枚目。事業費の考え方について。砂川部長は、瀬戸ヶ島に関しては民間の部分を省いたと説明されたが、埴部長は数字の流れの一つの目安だというお話もあったので。現在地域プロジェクト推進室があるし、ああした所では正規職員がそのために専属で貼りついている状態。ならば当然事業費として人件費、それからコンサルにいくらか発注されているのだから、それらを含んだものが事業費として上がっていないといけないと私は思うのだが。それらがこの中に含まれているかどうかお尋ねする。

地域政策部長

ここに出しているのは飽くまでハード、整備するための事業費ということで。例えばこれの準備のために調査や視察をしたり、事務的なことをやる経費は含んでいない。予算計上の際に地域プロジェクト推進事務費として出しているが、瀬戸ヶ島の事業であれば具体的に調査設計するといった費用は当然入ってくるだろうが、職員は色んな仕事をするので、人件費等はここに入れていない。

それから先ほどいったように、この事業費は市の予算を経由するものと考えているので、先ほどの民間部分を外したというのは直接民間の方が投資される、去年の20億円の中には物販施設とかは民間にやっていたくということで、市が歳入歳出を通さない、市の予算を通さないものも事業費の中に入れたのでそれを外したということなので。例えば民間から市に入れていただくお金があれば当然事業費として出すものになると思うが、市の会計を通らないものを入れていたので外した。

足立議員

説明は分かったが、総事業費という文言の中には、人件費やコンサル委託料といったものも含まないと総事業にならないと思う。例えばこの

荷さばき場など37億円という数字が上がっているが、ではその数字に人件費は含まれているのかどうかということで。でも水産課の職員でもしも特別チームを作られるなら、当然職員の人件費も含めた総事業費が40億円になるのかといったものだと思う。正しい数字をもって我々にも説明いただければ、間違った数字が独り歩きすることもない。その点はしっかり数字を含めてお願いしたい。

西田議長
西村議員

他に。西村議員。

思いは江角議員と同じ。今日は数字的な確認をしたい。1つは普通交付税だが、今回例えば10ページのこの表で表わされている数字、111億円から33年には同額の111億円になっているが、これは26年度27年度に大きな見直しがあったが、だけど28年度以降もそういった見直しは若干残されているはず。それは見込みとしてこれに計上されて入っているのか、それとも外された数字なのか。馬鹿にならない数字だったと思うので確認しておきたい。

それから地方債の所。27年度と33年度は地方債の合計の数の内訳が、4つほど書いてあるが27年度と33年度については足し算が合わないの、他にどういったものがあるのか教えていただきたい。逆に言うと28年から32年までは足し算が合うので、このままかなと思う。

もう1点は、今日配られたナンバー1の資料で、物件費の中でマイナンバーの改修等について電算経費として6億4,000万円が上がっているが、具体的にマイナンバー改修等にかかる経費は大雑把に言ってどの程度か。併せて、そのことに対して財源的な措置がいくらかでも歳入の方であるのか。

財務部長

言われる点で確かに質問を何回も受けて、普通交付税の中で市町村の姿の変化に対応した見直しという中で、一番が人口や面積、支所ということで、あとは消防経費、一定のを見ているが不確定な金額について28年度以降があるので、それについてはまだ見込んでない。何故かと言うとこの中期財政計画はこの計画が33年までの計画で見込みをしたものだという事を出したが、ご存知のとおり毎年ローリングしているので正確な数字について抑えられた時点で、来年また12月に数字を出す。だから当然この数字がもしかして来年の42億円の赤字というのは変わってくる、出来るだけ抑えるような数字でまた考えていくし、ご意見をいただいたように厳しい中で出来るだけ議員のご意見を聞きながら、数字を出出来るだけそういう方向に持っていきたいと思っている。

地方債の内訳だが、確かに計算が合わない。主なものを取りあえず上げたので、その他で入れさせていただいて合わせるように今後考えていく。この優良債だけ上げているので、他に市営住宅などを建てた場合は100パーセント起債は出来るのだが、交付税がない。起債だけ出来る状態なのでそういったものを取上げて上げたくないという気持ちはない。金額が小さいのであまり考えてない。またそれをその他で上げるようにしてトータル合わせるように工夫してみる。

それからマイナンバー。金額的には……一定の金額は交付税で見るとか交付金で見るという話は聞いているが、その金額が今どこかというのが私も押えていない。6億円全部を自主財源で出すのは有り得ない。また金額を報告させてもらう。

西田議長
森谷議員

他に。簡潔に願います。森谷議員。

先ほどの2枚紙の真ん中の27中財だが、ここの一番下、歴史館約14億円に対しての浜田市の負担は8,000万円くらいと言われた。色んなものを調べると、大きければ維持管理費が10パーセント、普通でも5パーセントはかかるので14億円で5パーセント掛けると7,000万円ではないかと思う。ということは8,400万円の負担で建つが毎年、建てるのと同じくらいの管理費が発生するということだと思う。高度衛生は浜田市の負担がどれだけかというJFとの取り決めも恐らく出来てないと思うが、86億円なのでこれを5パーセントにすると4億円くらい管理費がかかる。これは含まれてないのか、それとも若干含まれているのか。

地域政策部長

我々が所管している一番下の仮称浜田歴史神楽館整備事業について。お話があったように管理費、面積にもよるが5,000万円から7,000万円くらい、言われた事業費から想定すると必要だと思う。ただこの中には管理費は想定していない。今後実際に建築するとなるとその管理費もどのくらいかかるかは当然しっかり把握して、その財源をどうするかは、公共施設の再配置の中で、他に減らせる物から持っていけるか、そういう議論をして最終的にやるやらないの判断は出来ると思う。

森谷議員

小冊子11ページの下、実質公債費率だが、どんどん改善して27年に10.8パーセントになっている。この10.8パーセントに対しての分母を割り戻すと518億円になるが、この分母を同じだとして33年の公債費、66億円あるがこれを分子に持っていくと12パーセントくらいにしかない。14.1パーセントというのは分母も変えたのではと思うのだが、簡単に言うと予算規模になるのか。これはどういうことか。

財務部長
森谷議員

細かい数字は手元にないので、後ほどその数字を出してみたい。

了解した。9ページの一番上、寄附で27年度に6億円というのだが、確か……会社で言うと売上と原価があって、その差額が6億円使える金じゃないかと思うが、この6億円に対しての売上と仕入れは何億ずつか。

財務部長

基本的に売上があって売上原価があって売上純利益、販管費があって営業利益。ここの部分は営業利益の部分と考えていただければ問題ない。積み立てられる可能性のある金額を出している。

森谷議員

ということは売上とか原価とかはさておいて、このくらい積み立てられるのではないかということによろしいのか。

では砂川部長にお聞きする。瀬戸ヶ島開発などは市長も言われたと思うが、民間の参入があまり思わしくなければこちらで補助や援助、お金を出すということも考えると言われたが、それはまだ生きていますか。

地域政策部長

民間の方の支援については、基本的にはどういうものが出られるか、何をさせていただくかによって……今も誘致企業への支援とか色々な制度があるので、それらを想定しながら支援が必要なものに対してはルールに則って支援すると考えている。

森谷議員

結論は、生きていますということだと認識した。最後に7ページの上に補助費とあり、水道料金の激変緩和として5億3,000万円ということで、これは一般会計から持ち出すということだが、水道は水道で値上げをなるべく抑えようとして、月平均3,700円と。一生懸命値上げを抑えている。これは市の財政を助けるための努力としては良いような悪いような、難しい面がある。市民に対して負担があるかないかの問題も考えながら、

バランスを取らないといけないと思うが、財政は財政、水道は水道で独り歩きしないで、もっと突き詰めて同じような方向を見ながらやるべきだと思うのだが、少し足りないような気がする。その刷り合わせは殆どされてないのか。

財務部長

基本的に刷り合わせはやっている。この部分については、各自治区長にも入っていただいて、全域に関係することなので、水道部との刷り合わせは行っている。

西田議長

先ほど、高度衛生型の荷さばき所の市費負担とかもあったけど、それについてはいいのか。

森谷議員

はい。

西田議長

はい。

(11) その他

西田議長

以上で執行部の報告事項が終わった。執行部からその他何かあれば。

(「ありません」という声あり)

西田議長

執行部に対して議員からあれば。牛尾昭議員。

牛尾昭議員

多子世帯の生活支援事業について、先般福祉環境委員会を傍聴していて今日報告が出ているが、申請をされなかった所が8世帯あって、そのうち1世帯は知らなかったという問合せがあったけど締切をした、という報告を聞いていた。この事業の性格からすると、伝わってないというのはどういうことで相手に伝わってないかは分からないが、折角商品券交付事業をやって多子世帯の支援をするという本来の目的からすれば、受け取らないというはっきりとした意思をお示しの方は別だが、そうでない限りは全ての方にお届けするのが本来あるべき姿ではないかと思って聞いていた。申請主義のような感じがした。後で気づかれた1世帯、その他の方ももしかしたら知らなかったので貰えなかったという、当たり前の話ではあるが……

(「掃除をされていて後から出てきた」との声あり)

牛尾昭議員

多子世帯の支援をするということだから、そうであっても全ての家庭に支援をするのが本来のあるべき姿だと思って。気がつかないのが悪いと言えばそれで終わってしまうのだが、気がつかない時にその方がどう思われるかなど。浜田市って結構冷たいよねという所に行き着くのは非常に残念だ。この事業の性格からすれば、何故受け取らないのか。わずか8軒だから伺ってでも事情を聞いてお届けするのが行政の優しさではないかと思うのだが。

健康福祉部長

ご指摘の点だが、あの時に答弁させてもらったが、これ行政の仕事だからそういう言い方になってしまうのだが、締切なりがあって相手方へのお知らせなり重ねての勸奨なり、最近はずやっている。それがあってもなかなか100パーセントにならない実態がある。なので先ほど仰ったようなことについては、一応終わっているのだからなかなかこれをまた戻してやる、今回については戻してやるというのは難しいと私は思う。ただ、出来る限りお金について権利のある方にはきちんと届くような努力は最大限これからもしたい。

牛尾昭議員

先日、原井幼稚園のお遊戯会に行ったら、お母さん方みんな小さい子どもさんを2人抱えておられて、3人目はステージの上にいる。幼稚園に

行ける家庭はやはり子ども3人持てるのかなと。私の身近にいる子は、収入の都合で3人目が産めないのだと言う。行政に心が無いのでは。何百軒もあれば1軒ずつ訪問するのは難しいだろうけど、折角そのような状況で。多子世帯は殆ど欲しいと多分思っておられると思うので、何らかの形で伝えられなかったのか。再三再四おやりになったとのことだが。市長がいくら元気な浜田市と言ったところで、片方ではこういう漏れがあるという。些細なことかもしれないが全体の奉仕者だから、些細なことを拾って補って埋めていくのが本来公務員のあるべき姿ではないかと思う。財政に比べて非常に小さい話で申し訳ないが、是非そういう姿勢を市民の視点から改めていただいて、浜田市優しいと言ってもらえるような浜田市にしたいと思っている。是非猛省を促して何らかの方法を考えていただきたい。

西田議長

他に。

(「なし」という声あり)

西田議長

では、執行部はこれで退席されて構わない。

《 執行部退室 》

2. 陳情審査結果等報告書

西田議長

議題2について。これは皆さんにお配りしているので次の議題に移る。

3. その他

西田議長

その他について。

三浦局長

事務局から。多分お手元に1月4日の新年賀会の会員券をお配りしていると思う。1月4日16時となっているので、ご出席をお願いする。

それと今日は表決日なので、恒例になった採決結果の記載について、この後記入していただき席に置いていただくか、事務局へご提出いただくようお願いする。

それと1件お願いがある。先般も少しお知らせしているが、28年度分の扶養控除等の申告書の提出、それとマイナンバーの提供の依頼。マイナンバー法の施行で説明等があったが、事務局でも源泉徴収票を作成するために議員全員のマイナンバーの提供をお願いしなくてはならない。そこで扶養控除申告書についても今年から議員本人と扶養されている家族全員のマイナンバーを記載することが義務付けられている。ついては扶養控除申告書を提出される議員におかれては、マイナンバーを記載して確認書類として議員本人のマイナンバー通知の写しを、来年1月6日までにご提出いただくようお願いする。職場で年末調整する議員については、扶養控除等申告書の提出は不要だが、源泉徴収票作成事務に必要なため、議員本人のマイナンバー通知の写しが必要になっている。これも1月6日までにご提出いただきたい。本来だとマイナンバーを提出される時には番号の確認の書類に併せて身元確認のため免許証等の提出をお願いしたりしている所があるようだが、事務局においてはそれを省略して、面識確認とさせていただきます。今後色んな部署でマイナンバーの提出を求められる際には、身元確認のため運転免許証の写し等の提出を求められることがあるので、そういった場面があることはご承知置きいただきたい。お

西田議長
三浦局長

手数をおかけするが1月6日ということですのでよろしくお願いする。詳しいことは事務局へまたご確認いただきたい。

他に。

この後、議会運営委員会で3月議会の日程を一応確認して頂くので、記入が終わったら第4委員会室へ、議運委員の皆さんはお集まりいただきたい。

西田議長

では、以上で全員協議会を終了する。

[15 時 05 分 閉議]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 西 田 清 久